

市議会議員協議会が「特別養護老人ホーム」和田地区へ開設案

過疎の歯止め・地域の活性化に 朗報

さる、十一月八日、開催されました新南陽市議会全員協議会で、市が計画中の特別養護老人ホームの建設場所を和田地区内とし、昭和六十六年四月開設を目標に建設を進めることが明らかにされました。

和田地域の過疎化の歯止めとして、また、地域の活性化、発展の大きな布石として、今、この話題がクローズアップされております。

特別養護老人ホームの建設については、現在、ル（八反）以上が必要となるようです。

和田のまちづくり懇話会（会長 小田好美さん）で話し合いが行われております意見も、和田地区に誘致出来るものなら、米光地域を中心とした適切な場所にと考えられているようで、今後、場所の選定にあたっては、この意見が尊重されるものと思われまます。

事業計画は、建物平屋建の千九百〜二千二百六十五平方メートルで、これに必要な用地面積は、用地の確保、造成、施設の完成を経て、昭和六十六年四月に、オープンする予定です。

特別養護老人ホームの計画収容定員は、五十人。他に短期間介護が出来る「ショート・ステイ」に五人、一日休養の「デイ・サービス」十人〜二十五人の収容規模の計画となっております。また、これに要する事業費は、用地費、造成費を除き約五億円が見込まれているようです。

和田地区は古くから開け、山陽 研究会」を発足し、これらの史跡・知恵や願い、折りといった数けん道の裏街道であった関係からか、文化財を写真に撮り、大地図にさが含まれており、これを子供や史跡、文化財が多い。と、そのいわれを調べて記録 孫に語り継ぐ必要があると思う。

和田地区の史跡・文化財

（その一）史跡・文化財研究会の発足

資料提供 和田小学校

に残そうとされている。

このたび、和田小学校の先生方 もともと、こうした史跡や文化財には、私たちの先祖の生活や、

和田農産加工グループ（代表 中村アヤ子さん）は、柿の葉茶、野沢菜漬に続いて、このほど新製品「千石三味」を新発売されました。

この製品は、市内の株式会社シマヤの協力を得て、野沢菜漬をフリーズドライ製法で乾燥し、風味と淡い

緑色をそのまま保ちながら、自然の調味料を加え製品にしております。

名付けて「千石三味」今回、市の物産展で初売りし大好評を得た新製品です。

農産加工グループ

新発売 千石三味 漬茶のさわな



「ふりかけ」
「お茶漬け」
は勿論、
「おむすび」
「焼きめし」
「焼きソバ」
等、お好みに愛用出来ます。
価格は一袋五百円です

向う一ヶ月の行事計画

- 十一月十五日(火) 農業所得申告相談 十六日迄 和公
- 十一月二十一日(月) まちづくり懇話会 和公
- 十一月二十二日(火) 市内小中音楽祭 富中
- 十一月二十三日(祭) 故里体験学習(炭焼きに挑戦) 高瀬
- 十一月二十五日(金) 健康づくり大会 社会文化ホール
- 十一月二十七日(日) 秋季火災予防訓練 和公
- 十二月二日(水) 和田小学校参観日 和公
- 十二月三日(金) 婦人会分区長集会 和公
- 十二月四日(日) 故里体験学習(炭焼きに挑戦) 高瀬
- 十二月五日(月) 中学期末テスト(七日迄) 和中
- 十二月七日(水) 和公運営審議会視察 柳井
- 十二月九日(金) 読書の夕べ 和公

和 中 県 の 福 祉 教 育 指 定 校 に

地域に根ざした福祉活動

今年には和田丸太体験学習

来年度は「高瀬茶」に挑戦

和田中学校では、今年から二年間、県の福祉教育指定校として、地域に根ざした福祉活動を行うこととしております。そこで、この四日には、和田丸太の共同作業を通して、思いやりの心を育てようと、杉丸太の皮剥ぎ作業に挑戦しました。

一、二年生は、夏切の山奥から原木をグラウンドに持ち帰り、四校時には全校生徒が、佐藤森林組合長さん、松田富雄さん達から手解きを受け体験実習をいたしました。

木の表面に手垢をつけないよう両手に軍手をし、自作の竹ペラを使って悪戦苦闘しました。そこには、奉仕する心のみでなく、お互いの心の向上をめざすかのように、共に学び共に生きる喜びの姿を、かいま見ることが出来たようでした。

また、生徒たちは、来年二月の、仕上げ磨き作業を楽しみにしております。

【素晴らしかった体験】

一年 山本純子(十郎)

十一月四日、この日片道三十分の道を往復、考えただけでいやになります。

山道には手摺りがないので、今にも落ちそうでした。木立の中は薄暗いので、早く帰りたいと思って急いで歩きました。帰りは、木を二人一組で運びます。

こんなに重いとは思ってもいなかった。で、帰りの道は行きより長く感じました。いよいよ、皮むき作業です。私は、まさか竹で皮を取るとは思っても見ませんでした。なので、この竹ペラは何に使うのだろうかと思っていました。

作業は思ったより難しく、木の皮に竹のヘラさえ通りませんでした。

途中、終わりとされたときには、まだやりたい……もう一度、あの山道を通ってもよいからと思っていました。

一度位いかけて……

高瀬湖マラソン 5名が民宿

大原柳井作一さん宅 瀧本乗英さん宅へ

お礼の便り



前略 この度、しんなんよう高瀬湖マラソン大会に当たり、宿泊のお世話を頂きまことに有難うございました。私ども二人の為に心細やかなお心遣いと、沢山の御馳走等本当に厚いお持てなしを賜り、心から厚く御礼を申し上げます。

この大会には、昨年から参加しておりますが、コースは曲がりが多く走り難いのですが、大会運営がスムーズ且つ素朴な雰囲気の中で行われ、好ましい大会です。

今年、昨年より大変速い方が多く参加され、私も昨年の(二十二分五十二秒の第四位)より二十五秒タイムが悪く九位に終わりました。

やはり年齢を重ねる毎に少しづつ遅くなって行くようです。しかし、本来の目的は、健康の為にランニングですから、元気で毎日走れる事が一番です。

来年二月には青梅報知マラソンの三十キロに出場出来ることになりましたので、これからは各地の大会に参加しながら走り込みをし、二時間三分以内での完走を目指します。(以下略)

和田地区総合まつり

好評 ジャンケン大会に人垣



十月三十日に開催されました、第六回和田地区総合まつりは、早朝から大勢の方々が参加され、各行事とも盛会に行われました。なかでも、好評のジャンボ・ジャンケン大会時には、全員がグラウンドに繰りだし、沢山の豪華な景品を求めて、グー・チョキ・パーと、幸運をつかもうと奮闘していました。

今年、地区外からも大勢の人が駆けつけられたようです。一番に勝ち名乗りを挙げ、松茸を手中にされたのは徳山市内の子供さん。目玉の景品の「九州のツアーの旅券」は、西迫上の佐藤育男さん方、秀則君が手中に納められました。

なお、この行事に当たり、多くの方々から豪華な景品がご提供されました。

本紙面をお借りしてご紹介いたします。

△見取口町の紹介△

- 松茸一キロ(大原 有井正行) 豆腐一缶(和田 中村 章)
- 真砂ダンブ一車(和田 山田 登) 米一俵(平木 森重徳男)
- 無料散髪券二人(和田 理容和田) 鯛一匹(秋字明 茅原重夫)
- ワンカップ一箱(和田 松坂芳人) 清酒二本(和田 藤村 茂)
- ビール二十本(西広沢 原田凡穂) ツ蛋二キロ(林 友田 伸)
- 乾燥椎茸一キロ(夏切 津本敏雄) お茶一缶(和田 藤本 勝)
- リンゴ一箱(西広沢 渡辺輝明) ステレオ(湯野幹 藤井清司)
- 白菜三十キロ(原赤 山藤栄子) 醤油十本(林 友田正人)
- 高瀬茶二ケース(高瀬茶業組合) 一輪車一台(中村 佐藤重友)
- ラーメン一箱(中村 池田正和) 鶏卵一箱(打木野 山田 二)
- 肥料二袋(和田農協) 手袋十枚(森林組合) マイ茸一箱(匿名九州ツアーの旅券(支所 村河忠夫、藤井孝一、和公藤井邦彦)

【求人案内】

和田造園より

TEL 67-2207 FAX 2915

只今、和田造園では従業員募集をしております。要件は、概ね六十歳までの健康な方です。普通免許をお持ちの方は特に歓迎します。

雇用条件は、面談の上優遇いたします。希望者は、お気軽にお問合せ下さい。